



コスモ・スクール うすだ

一人一人が輝き つながり 未来を拓く

音楽会特別時間割が始まりました。

今週から、音楽会特別時間割が始まりました。学校では、体育館や音楽室、多目的ホールや集会室、はたまた家庭科室など校内の至る所から子ども達の歌声や楽器を演奏する音が響いています。私も、その音に誘われて、子ども達の様子を見に行ったり、話を聞いたりしてしまうのです。「あの部分が何度やってもうまくいかないんだよね。」「音楽会まであと少ししかない、焦っちゃう。」などなど。

そして、子ども達の練習の姿を見ていると、楽譜にじっと視線を送りながら、何度も何度も繰り返し弾いている姿。先生方の手拍子やカウントに耳を澄ませながら、自分なりにリズムを刻んで演奏する姿。体を揺らしながら、目の前の空気を全部吸って歌っているかのような大きな口。細かいリズムに必死についていこうとくらくらいついて演奏している姿。そのような子ども達の姿を見ていると、音楽会っていいなと思うのです。

誰もが音楽が得意で、大好きではないかもしれませんが、そのような中でも友達と音を合わせよう。音を重ねようとしている姿は、心を揺さぶります。

私は、音楽が堪能な訳でも、長けている訳でもありませんので、音楽に関して何か評論することはありませんが、私が音楽会やそれまでの過程の中で見たいと思う子ども達の姿は「表現者としての姿」です。子ども達一人一人に音楽会に向けた「願い」があり、その「願い」をどのように表現したらよいかと、練習を重ねたり、悩んだり、喜んだり、挫折したりしながらも音楽会にたどり着いた時、その過程が、音楽会での姿として表れるのではないと思うのです。他の学年の演奏を聴く姿。友達の音に耳を澄ませながら演奏に取り組む姿、登壇や降壇、準備や片付けをする演奏以外の姿などなど。



これより先は、左のQRコードか、次のURLのリンクから、映像をご覧になっていただいてから、お読みください。

https://www.youtube.com/watch?v=KncnB5bfMWo&list=RDKncnB5bfMWo&start_radio=1

この番組で演奏しているのは、伊藤（旧姓：野村）真波さんという方です。皆さんはご存じでしょうか？彼女の演奏は、聴く人の心を揺さぶり、感動させます。それは、演奏もさることながら、彼女の姿に感動するのです。人は、彼女が笑顔で演奏する姿を見て、その笑顔の裏にある壮絶な努力や困難を想像します。そして、演奏までの過程と演奏中の彼女の姿を照らし合わせ、心を揺さぶられるのだと思うのです。

伊藤さんは、自分の母に、ヴァイオリンの演奏を聴いて欲しい、多くの人に勇気をもってほしいという願いをもって練習を重ね、映像にある番組に映し出された「姿」として表出されたのだと思うのです。

10月28日（火）29日（水）に行われる音楽会。子ども達が積み重ねてきた練習を想像したり、お家で練習する姿を重ね合わせたりしながら聞いていただければ、その場の演奏だけではなく、それまでの過程がドラマとなり、子ども達だけではなく、保護者の皆さんの心にも刻み込みこまれるような音楽会になると思うのです。



「はじめようコンサート」の合図とともに、子ども達は音楽会への一歩を踏み出しました。「南風にのって」やさしく背中を押されるように、「青い空に絵をかこう」とするように、のびのびと音を重ね。「世界が一つになるまで」心を合わせ、「With You Smile」で笑顔をつなぎ、「桜の下で」出会った仲間とともに、「群青」のように深く澄んだ響きを育てています。

「怪獣の花唄」では元気いっぱい、「11ぴきのねこ」では自由な発想で、「ジブリメドレー」では夢と冒険の世界を、「きらきらぼしへんそうきょく」では臼田の星のようなきらめきを届けます。

「アンダー・ザ・シー」では海の中の楽しさを、「さようなら」ではやさしい余韻を残しながら、子ども達は一音一音に心をこめて、音楽会に向かって日々がんばっています。

そして、「情熱大陸」で熱い思いを、「剣の舞」で力強さを舞台いっぱいに響かせます。その音が、聴いてくださるみなさんの心に届くように――。

黄色いヘルメット

10月となり、夏用の帽子から、黄色いヘルメットを着用するようになり、毎朝、黄色いヘルメットをかぶって登校する子ども達の姿を見かけます。あの黄色は、ただ目立つための色ではありません。そこには、深い願いと祈りが込められています。

かつて、交通事故で大切なお子さんを亡くされた保護者の方がいました。その方は、同じ悲しみを誰にも味わってほしくないという強い思いから、子ども達の安全を守るために、黄色いヘルメットの着用を呼びかけました。

「どうか、うちの子のようなことが二度と起きませんように。」

その願いが、今、私たちの子ども達の命を守る黄色いヘルメットとなって受け継がれています。

交通事故は、ほんの一瞬の油断で起こります。子ども達はまだ視野も狭く、注意力も未熟です。だからこそ、大人が守ってあげなければなりません。黄色いヘルメットは、ドライバーの目に留まりやすく、子ども達の存在を知らせる大切な命のしるしです。

どうか、毎日の登下校に、黄色いヘルメットを忘れずにかぶってください。それは、子ども自身の命を守るだけでなく、悲しみを乗り越えて願いを託してくださった方の思いに応えることでもあります。

そして、保護者の皆様へ。お忙しい朝の時間の中でも、どうかお子さんがヘルメットをかぶっているか、あごひもが適切に調整されているか等、見守っていただけますようお願いいたします。



「コスモ・スクール うすだ」のバックナンバーについて。

本校HPか、右記のQRからご覧いただけます。

